

# 令和 5 年度 事業報告書

社会福祉法人 希桜会

## 法人全体

### 【基本理念】

「人と地域の暮らしを豊かにする」

### 【総括】

新型コロナウイルス感染拡大による経営不振とかねてから法人が抱える課題の解決を図るために、年度当初よりコンサルティングを導入し、どのように改善・解決策に取り組むべきかの提案を受けた。これまでの法人の理念に加え、ミッションを具体化し、現状に沿った形での数値目標及びサービス目標の設定をおこない「経営方針書」を作成した。また、職員へ向けて経営方針発表会を実施し、目標を共有し法人への理解を深めることに努めた。

「いつまでも住み慣れた街で食べる幸せ、季節を感じる愉しみを」をミッションとして掲げ、地元の新鮮野菜・お米・上質な肉・魚を使用した食事提供を推進した。入居者が館内だけでなく、外気浴や外での食事ができるスペースを確保するために、中庭改修などに着手し、入居者同士、ご家族と歓談できる場所等の環境整備もおこなった。

全体としては経営面も改善の方向にあり、少しずつではあるが上向き傾向にある。

### 【令和 5 年度における重点項目に対しての評価】

| 年間計画             | 評価・取り組み                                                                                                                                                                                               |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 人の採用・確保      | これまでは、事業所毎に施設長が独自のプロセスで採用を決定していた結果、採用のミスマッチも多く発生していた。改善の取り組みとして採用の方法をルール化し、施設長会議の審議を諮り進めることとした。これによりミスマッチや安易な採用を抑制することができ、離職者が減少した。また、ミャンマーからの技能実習 4 名は順調に日本語能力と介護技術が向上している。次年度も実習生の追加採用に向け、準備を進めている。 |
| (2) 人材育成のための環境整備 | 無資格・未経験者等の新人教育が十分行われていないことに対する不満やそれが原因で退職した職員も少なくないといった反省を踏まえ、より丁寧な指導方法が必要であると認識した。そこで教育プログラムを作成し、サービスマニュアルと新人教育チェックリストの二つのツールを用いて全事業者共通の指導ができるようにした。<br>技能実習生には、良好な住環境を提供し、生活面において                   |

|                        |                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                        | もできる限りの配慮を心がけ、長期にわたり当法人での技能の習得、生活の向上が可能となるよう支援している。                                                                                                                                                             |
| (3) 事業経営の安定化           | 「きさらぎ荘」・「うめの香」は昨年に引き続き赤字となっているが、小規模多機能事業所の「たちばな倶楽部」は高収益を上げ、今後は併設の小規模特養「みやのぎ荘」との相乗効果も期待でき、法人の柱となるよう経営戦力をたてていく必要がある。「きさらぎ荘」「うめの香」については、経営改善のための方策を講ずることが急務となっている。                                                 |
| (4) 法人の組織化             | 毎月開催している経営会議においては、内容・報告方法・進捗確認の手段等の型をルール化したことによって、取り組むべき課題が具体化でき、会議の時短も図ることができた。また、特養・小規模多機能それぞれに施設長・管理者を置いていたが、施設長に権限を集約したことによって役割が明確になり、業務のスピードアップ・円滑化が図れた。                                                   |
| (5) 事故防止<br>・身体拘束廃止の徹底 | 利用者の人権を尊重し、施設内虐待防止、身体拘束廃止の徹底強化のため各施設に設置されている委員会を中心に必要な事項について検討をしてきた。次年度以降も引き続き職員の意識を高め、虐待・拘束を発生させない体制、職場づくりに取り組んでいく。                                                                                            |
| (6) 危機管理システムの強化        | 新型コロナウイルス感染防止の取り組みを継続し、自然災害や火災発生などを想定した事業継続のための計画書（BCP）の策定をおこなった。今後は避難訓練、研修を実施し施設・入居者・職員の安全確保に努めていく。                                                                                                            |
| (7) 地域との連携             | 「サニー秋桜」では昨年に引き続き、東都大学看護学科の実習生6名を受け入れている。コロナ禍の影響から従前行っていた地元中学生の職場体験は中止している。<br>「きさらぎ荘」「うめの香」では地域住民主催の交流会や、千葉市老人福祉センター主催のクリスマス会に参加することで地域との交流を図りつつ、認知度を上げることができた。今後も感染症の動向を見ながら、各事業所において徐々に地域住民との関わりを増やしていく方向である。 |

## ケアハウス サニー秋桜事業報告書

### 【事業方針】

入居者一人ひとりがこれまでに過ごしてこられた地域での生活・習慣を大切にし、その人らしい生活を送れるよう支援します。また、豊かで穏やかな日々を過ごすことができるよう、暮らし良い住環境を提供します。

### 【重点目標】

- ① 入居者処遇（自立支援・重度化防止）
- ② 施設行事・レクリエーションの充実
- ③ 施設の環境整備
- ④ 職員の資質向上

### I. 目標に対しての評価

#### （１）入居者処遇

入居者の生活の質の向上と安定を目指し、健康で穏やかにできる限り自立した生活が送れるよう在宅介護、通所介護、通所リハビリテーション等の外部介護サービスの活用を図りながら、その人らしい生活を送れるよう支援をした。また、医療・介護の連携を密にし、ご家族にもこまめに状況報告をおこなうことができた。

食事においては、給食委託業者の変更によりバラエティに富んだ献立、調理の工夫、新鮮な野菜や魚の提供が可能となり、入居者の残食・欠食がほぼなくなり、毎日の食事を楽しみにする入居者が増え健康維持にも繋がった。

#### （２）行事計画・レクリエーション

毎週火曜日に多目的室で開催しているふれあいカフェ「かえで喫茶」も定着し、カフェを通じた入居者同士の交流も盛んになり、他の行事や朝のラジオ体操への参加率も高まり日々の活力に繋がった。また、11月には新型コロナウイルス感染防止策を講じながらであったが、サニー秋桜創立 25 周年を皆でお祝いすることができた。

#### （３）設備・備品の入れ替え

|    |                  |
|----|------------------|
| 消防 | 防災受信機、煙感知器       |
| 水道 | 貯水槽用定水位弁、貯水槽用バルブ |
| 厨房 | ガステーブル           |
| 居室 | 電気温水器 4 台        |

防災基盤受信機は前年度の消防点検で不具合の指摘があったので、今年度入れ替えを実施した。また貯水槽などの臨時的な大型修繕費用が発生した。入居者居室内の電気温水器や厨房内のガステーブル等は創設当時のもので、老朽化により入れ替えをおこなった。

#### (4) 職員資質向上

法人の資格支援制度を利用し、介護福祉士合格者、実務者研修終了者をだすことができた。今後も職員のレベルアップを目指し、外部・内部の研修に積極的に参加できるよう配慮する。

## Ⅱ. 施設運営報告

### (1) 施設安全・衛生管理

| 項目        | 実施月                   |
|-----------|-----------------------|
| 自動ドア点検    | 4 月 10 月              |
| エレベーター点検  | 遠隔点検：毎月<br>年次定期点検：9 月 |
| 電気工作物     | 毎月 年次点検：4 月           |
| ボイラー保守点検  | 5 月 11 月              |
| 消防点検      | 6 月 12 月              |
| 受水槽・水質調査  | 7 月                   |
| 害虫駆除・館内清掃 | 6 月 12 月（館内清掃）        |
| 消防訓練      | 3 月                   |

### (2) 年間行事・レクリエーション

|     | 行事      | レクリエーション<br>介護予防運動                             | 映画                   |
|-----|---------|------------------------------------------------|----------------------|
| 4 月 |         | ・あずま袋づくり                                       | 「父の詫び状」<br>「家族はつらいよ」 |
| 5 月 | 菖蒲湯     | ・カルピスを楽しむ（第 1 回）<br>～熱中症予防～<br>・大人の塗り絵         | 「鬼平犯科帳」<br>「小さいうち」   |
| 6 月 | スイーツカフェ | ・カルピスを楽しむ（第 2 回）<br>～熱中症予防～                    | 「武士の一分」<br>「相棒」      |
| 7 月 |         | ・七夕飾り<br>・雑巾づくり<br>・オリジナルクリアファイル<br>づくり（第 1 回） |                      |

令和 5 年度事業報告

|      |                              |                                                            |                       |
|------|------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 8 月  |                              | ・カルピスを楽しむ（第 3 回）<br>～熱中症予防～<br>・オリジナルクリアファイル<br>づくり（第 2 回） | 「細雪」                  |
| 9 月  | 長寿を祝う会                       |                                                            | 「父と暮らせば」              |
| 10 月 | コーヒーの日<br>お茶会                | ・ペーパークラフトオリジナル<br>小物入れづくり<br>・みかんジュースづくり<br>～インフルエンザ予防～    | 「古畑任三郎」<br>「なつかしい風来坊」 |
| 11 月 | サニー秋桜<br>25 周年祝賀会            |                                                            |                       |
| 12 月 | クリスマスカフェ                     | ・クリスマス小物のかぎ針編み                                             |                       |
| 1 月  | 新年会                          | ・書初め                                                       |                       |
| 2 月  |                              | ・ホットカルピスでブレイク                                              |                       |
| 3 月  | ひな祭り                         | ・雑巾づくり                                                     |                       |
| その他  | 毎日：ラジオ体操<br>週 1 回：かえで喫茶 OPEN |                                                            |                       |

（３）職員研修・委員会

|                       | 開催回数       | 摘要                         |
|-----------------------|------------|----------------------------|
| 感染症委員会                | 4 回        | 研修実施（2 回）                  |
| 給食会議                  | 4 回        |                            |
| 事故防止委員会               | 2 回        | 研修実施（2 回）                  |
| 身体拘束適正化委員会<br>虐待防止委員会 | 4 回<br>2 回 | 研修実施（各 2 回）                |
| 社外研修                  | 3 回        | AED 研修<br>苦情解決研修会<br>実務者研修 |

### Ⅲ. 入居者状況報告

#### (1) 入院・事故報告他

| 事項          | 件数 | 備考                         |
|-------------|----|----------------------------|
| 入院件数        | 10 | 誤嚥性肺炎<br>大腸ポリープ切除<br>白内障 他 |
| 救急搬送        | 3  | 誤嚥性肺炎 他                    |
| 事故報告書（千葉市）  | 0  |                            |
| 苦情に関する受付    | 2  | 入居者間他                      |
| 給食業務に係る事故報告 | 0  |                            |

#### (2) 介護保険サービス別利用状況

| サービスの種類       | 利用件数 |
|---------------|------|
| 訪問介護          | 14   |
| 訪問看護（訪問リハビリ含） | 2    |
| 通所介護（デイサービス）  | 4    |
| 通所リハビリテーション   | 15   |
| 訪問診療          | 2    |
| 福祉用具貸与        | 16   |
| その他           | 1    |
| 計             | 54   |

#### (3) 年間入退去者数

※月初既在者

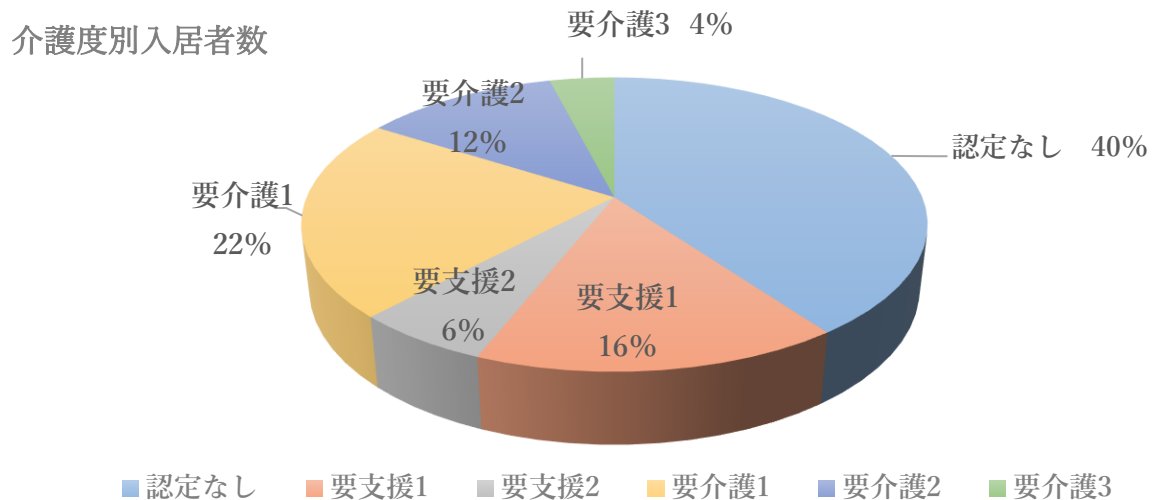
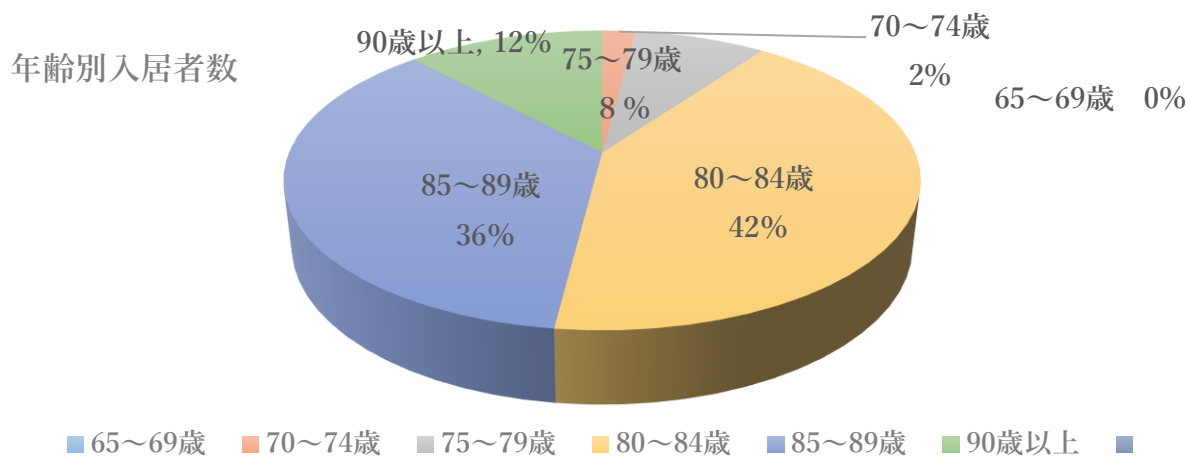
| 令和 5 年度入居稼働率 | 入居者数 | 退去者数 |
|--------------|------|------|
| 100%         | 5 人  | 5 人  |

(4) 年齢別入居者数

| 年齢別     | 人数   | 比率   |
|---------|------|------|
| 65～69 歳 | 0    | 0%   |
| 70～74 歳 | 1    | 2%   |
| 75～79 歳 | 4    | 8%   |
| 80～84 歳 | 21   | 42%  |
| 85～89 歳 | 18   | 36%  |
| 90 歳以上  | 6    | 12%  |
| 合計      | 50   | 100% |
| 平均年齢    | 84.5 |      |

(5) 介護度別入居者数

|       | 人数 | 比率   |
|-------|----|------|
| 認定なし  | 20 | 40%  |
| 要支援 1 | 8  | 16%  |
| 要支援 2 | 3  | 6%   |
| 要介護 1 | 11 | 22%  |
| 要介護 2 | 6  | 12%  |
| 要介護 3 | 2  | 4%   |
| 合計    | 50 | 100% |





## 地域密着型特別養護老人ホーム 事業報告書

### (きさらぎ荘・みやのぎ荘)

#### 【事業方針】

入居前の生活と連続したものとなるよう配慮しながら、入居者・職員・地域の持てる力を活かし、各ユニットにおいて自立的な日常生活を一日でも長く続けられるよう努めます。

#### 【重点目標】

- ① 稼働率の向上及び増収
- ② 科学的介護を導入しケアの質の向上
- ③ 看取りケアの充実
- ④ 食事（QOLの維持向上）
- ⑤ 職員育成のための環境整備

#### I. 目標に対しての評価

##### (1) 稼働率の向上及び増収

###### 【きさらぎ荘】

前年度の稼働率 90%から、令和5年度の稼働率は 95%となり大幅に向上することができた。地域との交流を深めた結果、問い合わせから見学へそして契約に繋げることができた。また、入居者の口腔環境の向上を行うことにより、入院のリスクが軽減された。

###### 【みやのぎ荘】

令和6年度の稼働率は 99%と目標達成できた。

目標達成のために数値をデータ化し管理した。数値が可視化されたことによって、空室がでた時点で早期に新規入居者へのアセスメントをおこない、空室から入居までの期間を平均2週間以内でおこなうことができた。

また、看取り介護を積極的におこなうことで、医療依存度が高くなった場合でも入院ではなく、施設で最期まで生活を送ることへシフトしたため、高い稼働率となった。

##### (2) 科学的介護を導入しケアの質の向上

みやのぎ荘では、きさらぎ荘に先行して LIFE による科学的介護の導入をおこなった。全国の同形態の施設とデータによる比較が可能となり、その数値を基に入居者のADL状態を数値で追い、サービスの質の向上に繋げることができた。きさらぎ荘においては、今年度の導入は難しかったが、令和6年度には導入を検討している。

### (3) 看取りケアの充実

#### 【きさらぎ荘】

施設で穏やかな最期を迎えられるよう看取り研修をおこない、加算の算定をおこなった。それにより、職員が看取りに対する心構えを持つことができ、今後看取りが必要な入居者にしっかりに対応することができるようになった。

#### 【みやのぎ荘】

「最期まで住み慣れた場所での生活を大事にして、穏やかに迎えたい」という入居者の思いとご家族の意思を尊重し、医療・介護が一体となって看取り介護の取り組みをおこなってきた。そのために、入院ではなく施設での最期を支えることができた。ご家族より「本当にみやのぎ荘に入居できてよかった」と言っていただき、それが職員全体の励みとなった。

### (4) 食事（QOLの維持向上）

#### 【きさらぎ荘】

しっかりと口から食べることができるよう、ミールラウンドの強化と入居者の変化などに即応できるよう、日頃から入居者の状態把握に努めた。また、「美味しい」「楽しい」といった充実感を得ることができるよう、入居者と一緒に中庭で育てた野菜を使用して調理レクなどもおこなった。

#### 【みやのぎ荘】

週1回各ユニットでおやつを手作りしたことにより、より家庭的な雰囲気を楽しんでいた。また、米やだしなどの基本の食材を見直したことで、より美味しい食事が提供できた。

### (5) 職員育成のための環境整備

#### 【きさらぎ・みやのぎ共通】

##### ① 入職時研修の充実

入職時に教育研修とOJTを組み合わせながら、介護の基本的な部分を理解してもらうように努めた。

##### ② ユニットリーダーの育成

年間を通じてユニットリーダーを外部研修に参加させた。また、新卒3年目の職員をリーダーへ抜擢し職員の持てる力を広げ、中長期の視点で育成に力をいれていくことに努めた。

##### ③ 内部・外部の研修の強化

毎月の内部研修の他、介護職員を外部への研修に行かせることにより、より良い介護サービスを現場に取り入れてもらうよう取り組んだ。

## Ⅱ. 入居者利用状況

### (1) 年間延べ利用人数

|          | きさらぎ荘    | みやのぎ荘    |
|----------|----------|----------|
| 稼働率      | 95%      | 99%      |
| 年間延利用者数  | 10,032 人 | 10,614 人 |
| 入院及び空床件数 | 582 床    | 82 床     |
| 一日平均利用者数 | 27 人     | 29 人     |

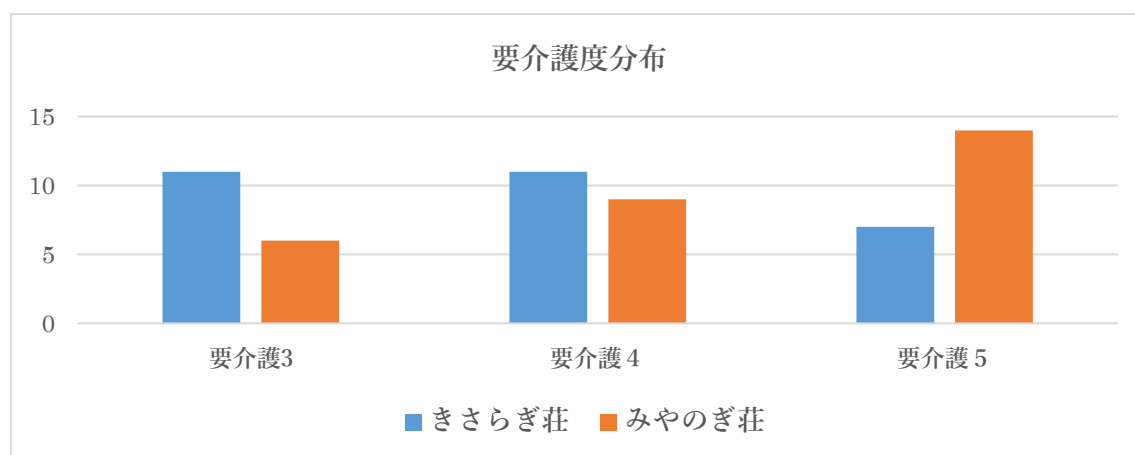
### (2) 入退去者数

|       | きさらぎ荘 | みやのぎ荘 |
|-------|-------|-------|
| 退去者数  | 9 名   | 4 名   |
| 入居者数  | 12 名  | 5 名   |
| 入院件数  | 13 件  | 2 件   |
| 看取り件数 | 1 件   | 2 件   |

### (3) 要介護度分布

(単位：人)

|        | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 |
|--------|-------|-------|-------|
| ■きさらぎ荘 | 11    | 11    | 7     |
| ■みやのぎ荘 | 6     | 9     | 14    |



## Ⅲ. 事故発生状況

(単位：件)

|         | きさらぎ荘 |       | みやのぎ荘 |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|
|         | 令和5年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和4年度 |
| 転倒・転落   | 10    | 9     | 20    | 26    |
| 服薬関係    | 13    | 16    | 7     | 18    |
| 誤嚥      | 3     | 0     | 0     | 0     |
| 表皮剥離・外傷 | 33    | 16    | 15    | 30    |
| ずれ落ち    | 1     | 0     | 0     | 0     |
| 施設離脱    | 2     | 0     | 0     | 0     |
| その他     | 13    | 6     | 13    | 0     |
| 合計      | 75    | 47    | 55    | 74    |
| ヒヤリハット  | 100   | 97    | 45    | 86    |

## Ⅳ. 苦情報告

|       | 件数 | 摘要           |
|-------|----|--------------|
| きさらぎ荘 | 3件 | 他人の服を着せていた等  |
| みやのぎ荘 | 1件 | 家族への事故報告が不十分 |

## Ⅴ. 年間行事・委員会・研修

## 【きさらぎ荘・うめの香】

| 月  | 行事                 | 委員会          | 研修                               |
|----|--------------------|--------------|----------------------------------|
| 4月 | お花見                |              | AEDの使用方法                         |
| 5月 | 端午の節句              | 身体拘束・虐待防止委員会 | 排泄と移動《外部》                        |
| 6月 | パンバイキング            | 感染症委員会       | 排泄について、認知症対応スキル向上《外部》、介護技術向上《外部》 |
| 7月 | 七夕とてん作り<br>鈴カステラ作り |              | 緊急時対応、食中毒予防                      |
| 8月 | 納涼祭<br>コサージュ作り     | 身体拘束・虐待防止委員会 | 高齢者虐待防止、オムツのあて方                  |

令和5年度事業報告

|     |                                  |                                                                  |                                   |
|-----|----------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 9月  | 敬老会                              | 感染症委員会                                                           | 事故防止                              |
| 10月 | さんま祭り                            |                                                                  | 感染症                               |
| 11月 | 文化祭<br>見浜園外出                     | 身体拘束・虐待防止委員会                                                     | ポジショニング、認知症介護実践者研修《外部》            |
| 12月 | クリスマス会                           | 感染症委員会                                                           | 口腔ケア、介護技術総合《外部》、<br>認知症介護基礎研修《外部》 |
| 1月  | 初詣（コロナの影響で中止）                    |                                                                  | 事故防止                              |
| 2月  | 節分                               | 身体拘束・虐待防止委員会                                                     | 身体拘束廃止、認知症対応型サービス事業管理者研修《外部》      |
| 3月  | 桃の節句<br>クレープ作り                   | 感染症委員会                                                           | 認知症への理解                           |
| その他 | 毎日：集団体操<br>不定期：買物同行<br>月1回：お誕生日会 | 【会議】月1回開催<br>リーダー会議<br>給食会議<br>研修会議<br>行事会議<br>事故防止会議<br>防災・防犯会議 |                                   |

【みやのぎ荘・たちばな倶楽部】

| 月  | 行事      | 委員会                  | 研修                                         |
|----|---------|----------------------|--------------------------------------------|
| 4月 |         | 身体拘束・虐待防止<br>事故防止・感染 | 新人研修<br>・地域包括ケアシステム理解<br>・ビジネスマナー<br>・事故防止 |
| 5月 |         |                      | 清潔の理解                                      |
| 6月 |         | 事故防止・感染              | 身体拘束・虐待防止                                  |
| 7月 | 中華バイキング | 身体拘束虐待防止             | 感染症について                                    |
| 8月 | 納涼祭     | 事故防止・感染              | 急変時について                                    |

令和 5 年度事業報告

|       |        |           |                                      |
|-------|--------|-----------|--------------------------------------|
| 9 月   | 敬老会    |           | 認知症の理解                               |
| 1 0 月 |        | 身体拘束・虐待防止 | 看取り介護について                            |
| 1 1 月 |        |           | ガイドライン研修<br>施設における緊急時など              |
| 1 2 月 | クリスマス会 |           | 7つのゼロ研修<br>駒場苑 坂野様による研修<br>記録の整備について |
| 1 月   |        | 身体拘束・虐待防止 | 身体拘束・虐待防止について                        |
| 2 月   |        |           | 排せつ介助の理解                             |
| 3 月   |        |           | 移乗・移動の基本                             |

## 小規模多機能居宅介護事業所 事業報告

### (うめの香・たちばな倶楽部)

#### 【事業方針】

住み慣れた地域で充実した在宅生活を送ることができるよう、一人ひとりの状態に応じたサービス提供に努める。利用者・家族にとって心の拠り所となれるよう、地域に暮らすひとにとって介護・医療の発信拠点となれるような地域の事業所を目指します。

#### 【重点目標】

- ① 稼働率の向上及び増収
- ② 機能訓練の充実
- ③ 地域に向けた活動

#### I. 目標に対しての評価

##### (1) 稼働率の向上及び増収

###### 【うめの香】

利用者の入退院や心身機能の重度化により、きさらぎ荘を含む他施設への転所が多く契約者数が減少した。心身機能の状態に応じた適切な介護度によるサービス提供を図る為、区分の見直しなどもおこなったが、近隣地域や包括センターなどへの働きかけが弱かったため、稼働率が低下してしまった。今後は地域包括支援センターや居宅介護事業所からの相談、利用者家族からの紹介も積極的に受け入れ、新規利用へ繋げることができるよう努める。

###### 【たちばな倶楽部】

新規の問い合わせについては、可能な限り受け入れ支援をしていく方針としたため、年間を通して高い稼働率を維持できた。要介護度が高い利用者であっても支援、介助の方法を常に情報共有したことで、介護の質が向上し、職員の技術の平均化が図れた。

##### (2) 機能訓練の充実

###### 【うめの香】

午前午後各 1 回の集団体操を実施し、更にきさらぎ荘と合同で昼夕食前にも体操時間を設ける事で最大 4 回の体操を実施することができた。個別の機能訓練に関しては、利用者の身体機能に応じ、居宅サービス計画書に沿って看護師指導の下、歩行訓練などを実施できた。

###### 【たちばな倶楽部】

週 1 回外部の理学療法士による集団体操および個別機能訓練をおこなうことにより、利

利用者の身体機能を低下させることなく維持できた。

### (3) 地域に向けた活動

#### 【うめの香】

運営推進会議の議題にあげることによって、包括支援センター・民生委員・利用者家族等から地域に向けた活動内容の具体化や施設内ボランティアの運用について助言をいただいた。

地域の方にうめの香の存在を知っていただけるよう、利用者も地域に赴き交流を深めていくことを目指し、幕張地域住民主催の交流会、千葉市老人福祉センター主催のクリスマス会に参加することで地域との交流を図り認知度を上げることができたのではないかと思います。

また、きさらぎ荘との合同企画として、地域住民のボランティアによる演奏会等を実施することができた。

#### 【たちばな倶楽部】

コロナ禍で実施できなかった夏祭り・餅つき大会を開催し、少しずつ地域の方との交流を復活させることができた。

## Ⅱ. 利用者状況

### (1) 年間延べ利用人数

|            | うめの香                | たちばな倶楽部              |
|------------|---------------------|----------------------|
| 稼働率        | 91%                 | 96%                  |
| 平均利用者数     | 24 人                | 28.3 人               |
| 宿泊利用者数     | 月間平均 80 人/1 日 2.6 人 | 月間平均 167 人/1 日 5.5 人 |
| デイ利用者数/1 日 | 9.2 人               | 13.4 人               |
| 訪問利用者数/1 日 | 9.2 人               | 12.4 人               |

### (2) サービス別利用割合

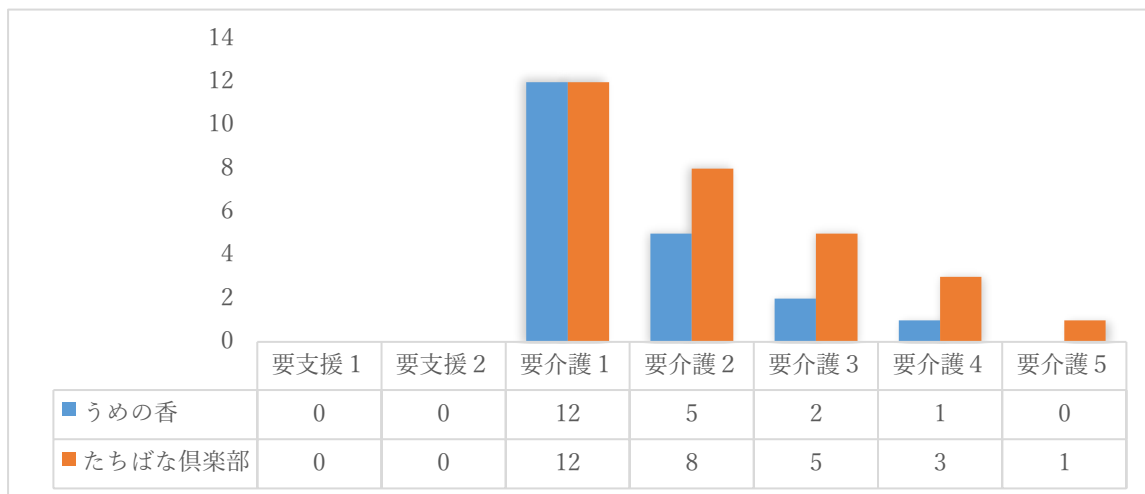
(単位%)

| サービス区分  | 通い | 訪問 | 宿泊 | 全体  |
|---------|----|----|----|-----|
| うめの香    | 36 | 54 | 10 | 100 |
| たちばな倶楽部 | 34 | 54 | 11 | 100 |



(3) 要支援・介護度別分布

(単位：人)



III. 事故報告

(単位：件)

|         | うめの香    |         | たちばな倶楽部 |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|
|         | 令和 5 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 令和 4 年度 |
| 転倒・転落   | 6       | 21      | 9       | 3       |
| 服薬関係    | 18      | 12      | 0       | 3       |
| 誤嚥      | 1       | 0       | 0       | 0       |
| 表皮剥離・外傷 | 8       | 14      | 1       | 0       |
| ずれ落ち    | 0       | 2       | 0       | 0       |
| 施設離脱    | 2       | 1       | 0       | 0       |
| その他     | 11      | 7       | 2       | 0       |
| 合計      | 46      | 57      | 12      | 6       |
| ヒヤリハット  | 84      | 18      | 6       | 48      |

IV. 運営推進会議の開催報告

|      | うめの香 | たちばな倶楽部 |
|------|------|---------|
| 開催回数 | 5 回  | 3 回     |